



たかせ

心ゆたかにたくましく
加こく成する
「たかせの子」

No. 20 令和3年2月2日 保護者地域の声を学校へ

今年も「五行歌」で「今」を切り取るぞ!

6年生の「今」

今年度は、新型コロナウイルス感染予防から、学校だけでなく、数々の行事が中止となっています。直近のところでは、「スノーフェスタ」もそうですし、町行事の「ゆきとぴあ」もそうでした。いろいろな思い出を刻み込み、どんどん豊かな心を耕していくこの時期の子どもたちには、本当に申しわけないなと思います。「ゆきとぴあ」前には、例年、高学年が五行歌の講習会と歌会を行い、豊かな感受性を基に自らの思いを、のびのびと文字にしてくれていました。今年はそのも行えない状況ですが、昨年度の講習会を経験している6年生に、「今の思い」を五行歌で切り取ってもらいましたので、ご紹介いたします。

【 雪 】

白くてふわふわしてて
軽くて でもたくさんだと重くて
冬の空から降ってくる
冷たいもの
遊ぶとけっこう 楽しいもの
(阿部 さん)

雪は冷たくてきらいだ
それに 多く降るときもあるから
でも 雪の結晶を見ると
きれいだなと思って
少し雪が好きになる (伊藤 さん)

しんしんと
雪がまい散る
きれいだな
雪遊び
とても楽しいな (大澤 さん)

深夜0時
お父さんは 除雪の仕事に行く
お父さんは 毎日とてもがんばっている
私も
お父さんのような大人になりたい
(小坂 さん)

ざく じゃく しゃく
もふ もきゅ もふあ
ずぼ どしん もそもそ
雪の音は
色よりたくさん (佐藤 さん)

【 自由題 】

寒くなると
なべが食べたくなる
でもぼくは アイスが食べたい
アイスは 夏より冬の方が
ぼくはおいしく感じる (阿部 さん)

冬の朝
ふとんとられて
ああ寒い
もっとねたいな
あ〜ねたい (佐藤 さん)

ぼくが 楽しい夢を見てるとき
友達は どんな夢を見るだろう
こわい夢かな
不思議な夢かな
それは ぼくにはわからない
(柴田 さん)

ねこが こたつの上でねてる
ぼくが こたつに入ると
にげる
にげても かわいい
ねてても かわいい (鈴木 さん)

6年生らしいとても素直な歌になっています。物事を純粋に見つめることのできるこの今の自分を、忘れないでほしいなと思いました。

努力を称えて!

2月の全校集会で表彰しました!おめでとう!これまでの頑張りの成果ですね!

【第11回横手市小学生バレーボール大会新人大会】
優勝 3年
小沼 さん
(VCうご)

【第23回県南地区小学生新人バレーボール大会】
準優勝 3年
小沼 さん (VCうご)



【第37回20201 矢島カップ GSL スキー大会】
小学校5年女子
第5位 5年
安倍 さん



【GAO年賀状コンテスト2021】
佳作 1年 今野 さん

全校集会 (2月)

「おはようございます」みなさん、3学期もまた、楽しく学校に来ていますか？始業式でお話した…「周りの人の幸せ」「今なら・今から」「6年生から学ぶ」ということは、できていますか？

今日の全校集会は、校長先生からみなさんに、問題を2つ出したい

【渡り鳥のV字飛行】

と思います。正解できるかな？

1問目です。皆さんは「渡り鳥」って知っていますか？白鳥やガンといった鳥たちで、季節が変わるごとに、大陸から大陸という、とても長い距離を飛んで移動する鳥たちです。1羽ではなく、何羽もの群れで、Vの字の形になって飛んで移動するのです。なぜこの形かという…先頭の鳥が羽ばたくと、下からの風が巻き上がるために、後ろの鳥はその風に乗って、楽に長い距離を飛ぶことができるからだそうです。1羽だけで飛ぶときの約70%の力で飛べるといことです。しかし、時々このV字飛行から離れてしまう鳥がいるのだそうです。日本に来る時には、海を越えて飛んで来ないといけません。海の上では休むところがありませんので、V字飛行の群れから離れてしまうことは、死を意味することでもあるのです。



さて、ここから問題です。「このように群れから離れてしまった鳥がいたら、周りの鳥たちは、どうするのでしょうか？」①自分たちも危険になるので残念だが、そのまま無視する ②助けに行く ③周りを飛んで、みんなで待ってあげる（どれかに挙手）

答えは…②の「助けに行く」です。そうですね。群れの中から何羽かが出ていき、小さなVの字をつくることで、休ませてあげて、また元みんなのところに戻してあげるのだそうです。困っている仲間がいないか常に周りを見て、お互いに協力し合っているのですね。

2問目です…蟻についての問題です。今度は、そばの人と相談して答えを考えてもらいますので、よく聞いてください。蟻は、基本的に泳ぐことができません。浮かぶことはできます。でも、すぐにおぼれてしまいます。アフリカ大陸を流れている大きい川に、ナイル川という川があるのですが…岸から岸までの川の幅は、狭いところで500m、広いところでは、何と、50km～60kmもあるそうです。

問題です。「この大きなナイル川を、蟻は、岸から岸まで渡ることができるそうですが、さて、どのようにして渡るのか、そばの人と話し合ってみてください。」

答えは…「みんなで かたまって渡る」です。どういうことかという…まず蟻たちは、お互いが離れないようにしっかりとつながり、3000匹の大きなボールのような固まりをつくります。その時、1/3の蟻は水の上に出ています。残りは水の中です。このままでは残りの2/3の2000匹は死んでしまいます。そこで、流されていく途中で、水の上の蟻は次第に水の中に入り、その代わりに水の中にいた蟻が、水の上に浮かび上がるということを繰り返して進んでいくのだそうです。すごいですよね。このようにして3000匹の蟻たちは、ナイル川という大きな川を、ほとんど犠牲を出すことなく、向こう岸に着き、新しい巣を作っていくのだそうです。

もしも、3000匹の蟻たちが、自分だけ楽をしようとして、いつも水の上に出ようとするなら、2000匹の蟻が死に、ついに は全滅してしまうことでしょうか。渡り鳥や蟻たちは、厳しい自然の中で、みんなで協力することで生きているんですね。自分一人だけではできないことも、周りの人の幸せを考え、実行することで、みんなが幸せになっているんですね。

みなさんはお家に帰ると、お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃん、地域の人たちから見守られて、みなさんは幸せに毎日暮らしているんですね。だから学校では、みなさんが「周りの人の幸せ」を考え、周りの人を幸せにできるようになってほしいと思うのです。

突然ですが、皆さん！胸の前で腕を組んでみてください。どちらかの腕が上になっているはずですよ？右腕ですか？左腕ですか？それでは、いつもと反対の腕を上にして、組んでみてください。…どんな感じですか？変な感じですよ。同じく、手の指を組んでみてください。どちらの指が上ですか？また、いつもと違う指を上にしてみてください。…やっぱり変な感じですよ。腕や指のどちらを上にするかということは、誰かにそうするように言われてしたのではなく、これまでの生活の中で自然と身に付いた「くせ」のようなものです。ですから、いつもと違うことをするのは、変な感じで、すぐに直すにはとても難しいんですね。「周りの人の幸せ」を考え、実行できる人になってくださいと言いましたが、腕の組み方ですら難しいのですから、自分を変えるというのは本当に難しいのです。変わろうと思っても、時々、今までの状態に戻って、自分勝手な行動をしてしまうこともあると思います。でも、そのようになっている自分に気付いたときに、また変わろうと気がつけることが大切だと思います。これを何度も何度も繰り返すことによって、自然に「周りの人の幸せ」を考えられる人に近づいていくのだと思います。「周りの人の幸せ」…今日からまた考えていきましょう。(終わります)



【衛星写真のナイル川】